

GBH社と関係強化

ジェラン ム 総代理店契約締結へ

キミカ

キミカは20日、バイオ
ガム專業メーカーのGB
H Bioscienc

e社（嘉保生物科技（保
山）有限公司、以下…G
BH社）と、日本市場にお
けるジェランガムの総代
理店契約を締結する。G
BH社はH AおよびL A
型ジェランガムに加え
て、両タイプの中間の物
性を有するMA型をライ
ンアップする。高品質で
ありながらコストパフォ
ーマンス性に優れている
ため、ユーザーからの評
価は高い。キミカが持つ
ハイドロコロイドの知見

やソウハウを生かし、日
本市場でのシェア拡大を
目指す。

GBH社は、2019
年に創業。21年には上海
にイノベーションセンタ
ーを設立するとともに、
雲南省保山市に自社工場
を着工し、23年に完成、
生産を開始した。現在の
ジェランガム生産量は6
000t/年となっている
が、来年を目途に1200
0t/年まで引き上げ
る。また現在、透明品を
中心としたキサンタンガ
ムやグルコマンナンの生
産も計画中だ。キサンタ

ンガムについては、すで
にテスト生産の段階に入
っており、近く、本格販
売に乗り出す意向だ。

同工場の総生産能力は
5000t/年で、市場
に応じて生産量拡大を図
る。設備は、ジェランガ
ムが1200t/年とな
り、3800t/年をキ
サンタンガムやグルコマ
ンナンなどの多糖類の生
産に充てる。雲南省は水
力発電が盛んで、サステ
ナブルかつ安価に電力を
生産できることが強み。
バイオガム生産における
コストの大半が電力のた

め、優位性は大きい。

他方、GBH社には欧
米のジェランガムメーカ
ーで経験を積んだ技術者

キミカでは約1年前か

が多数在籍していること
から、生産技術や品質管
理体制も高水準である。

GBH社の販売先は中国
国内をメインとし、日本
のほかにもベトナムやイ
ンドネシア、タイなどの
東南アジア、ドイツなど
欧州で実績を持ち、現在
は米国にもプロモーショ
ンが進む。

キミカでは約1年前か

らGBH社のジェランガ
ムの販売を手掛け、ユー
ザーからの評価も上々
だ。アルギン酸をはじめ
とする多彩なハイドロコ
ロイド製品を揃えること
や、キミカの品質管理体
制がGBH社に評価され
たことから、日本総代理
店として指定された。販
売は、キミカのグルー
プ会社で幅広い多糖類を取
り扱うキミテックスが進
めていく。